

	西暦	和暦	主な出来事	研究会活動および会員の主な動き	会長	事務局（代表）				
	1964	39	厚生省病院管理研究所病歴管理専攻科講習コース開設							
	1972	47	診療録管理士養成通信教育の開講（現日本病院会）							
	1974	49	診療録管理士第1期生の誕生	日本診療録管理士協会北海道ブロック幹事（倉部直子）						
			日本診療録管理士協会発足（1974年～2007年）							
			臨床研修指定病院の指定基準の公表							
	1975	50	第1回日本診療録管理学会設立							
1982	57		アンケート調査実施（北海道診療録管理研究会設立の前段として） 幹事（発起人）： 倉部直子、角晃夫、刈谷清子、小林裕記、福山由美子		幹事代表：倉部直子					
	1983	58		北海道診療録管理研究会設立（昭和58年4月10日） 研究会参加が診療録管理通信教育スクーリングの単位として認められる。	岩田善輔	江別市立病院（倉部直子）				
1	1984	59		第4回研究会 栗田静枝日本診療録管理士協会初代会長 招聘講演 日本診療録管理士協会機関誌に当研究会の活動内容を掲載（倉部執筆）						
			2	1985			60	医療情報統計年報用退院時疾病統計の標準書式の制定退院時疾病統計の書式標準化検討委員会（厚生省統計情報部、日本病院会、全国自治体病院協議会）	北海道医師会主催「医療関係職能団体懇談会」に出席（以降毎年参加）	
3	1986	61								
4	1987	62								
5	1988	63								
6	1989	元年		日本診療録管理学会誌第1巻第1号に当研究会の活動状況を掲載（倉部執筆）						
7	1990	2	「公益信託栗田静枝診療録管理普及基金」厚生省認可							
8	1991	3								
9	1992	4								
10	1993	5		会長交代、事務局移転 「公益信託栗田静枝診療録管理普及基金」 海外留学第1期生（倉部直子） アンケート調査実施（第1回）	西村昭男	日鋼記念病院（佐藤正子）				
11	1994	6		第20回日本診療録管理学会発表「北海道内主要病院における診療録管理の現状」（佐藤正子） 施設会員の新設						
			12	1995			7	（財）日本医療機能評価機構設立	研究会ニュースレター発刊	
13	1996	8	資格認定名称変更（診療録管理士⇒診療情報管理士へ）							
14	1997	9	病院機能評価事業開始	第23回日本診療録管理学会の後援団体となる 学会長：西村昭男 学会事務局：日鋼記念病院						
15	1998	10								
16	1999	11		「公益信託栗田静枝診療録管理普及基金」 海外留学第5期生（佐藤正子）						
17	2000	12	診療録管理体制加算の新設（30点） （管理責任体制の可視化、記録の質と活用の向上）							
18	2001	13	「診療情報管理基準」発行（日本診療情報管理士協会）							
19	2002	14		◎ コーディングセミナー発足 岩田善輔前会長 日本診療録管理学会名誉会員就任 西村昭男会長 日本診療録管理学会理事長就任（～2004年3月31日） 日本診療情報管理士協会副会長就任（倉部直子） 日本診療情報管理士協会全国ブロック代表幹事就任（佐藤正子） アンケート調査実施（第2回）						
20	2003	15	DPC導入（特定機能病院等）	第28回日本診療録管理学会発表「北海道における診療録管理の現況						
			厚生労働省「診療情報の提供等に関する指針」施行	アンケート調査報告」（宮津志津子）						
			「疾病分類マニュアル」発行（日本診療情報管理士協会）							
21	2004	16	DPC導入（国立病院・民間病院）							
			厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」制定							
22	2005	17	「個人情報保護法」施行	第100回北海道診療録管理研究会記念講演会の開催 日本診療情報管理士協会北海道ブロック幹事（萩平順一）						
23	2006	18	診療情報管理士指導者認定開始	診療情報管理士指導者第1期認定者（倉部直子 佐藤正幸 佐藤正子） 第32回日本診療録管理学会発表「北海道におけるコーディングセミナーの現況」（近藤 保）						
				24			2007	19	日本診療情報管理士協会解散 日本診療情報管理士会発足	会長交代、事務局移転 研究会名称「北海道診療情報管理研究会」に名称変更
25	2008	20	「医療機能に関する情報提供制度」開始	診療情報管理士指導者第4期認定者（大井晃治 谷川弘美） 院内がん登録実務指導者研修修了者平成20年度第1回（初山 貴） 院内がん登録実務指導者研修修了者平成20年度第2回（海老名春代）						
				26	2009	21	「日本診療録管理学会」→「日本診療情報管理学会」に名称変更	◎ がん登録セミナー発足		
				27	2010	22		◎ データベースセミナー発足		
28	2011	23		第37回日本診療情報管理学会発表 「北海道診療情報管理研究会がん登録セミナーの活動について」（境 嘉奈美） 院内がん登録実務指導者研修修了者平成23年度第2回（齋藤真美）						

29	2012	24		会長交代、事務局移転 診療情報管理士指導者第8期認定者（近藤 保 高橋 文） 院内がん登録実務指導者研修修了者平成24年度第2回（藤井貴文）	中村博彦	中村記念病院（吉田真澄）
30	2013	25				
31	2014	26	診療録管理体制加算改定：診療録管理体制加算1新設(100点) 診療録管理体制加算2(30点) （退院時要約の全例作成、診療情報提供体制（開示））	日本診療情報管理学会認定団体となる（研究会参加が生涯教育研修参加単位として認められる） 診療情報管理士指導者第10期認定者（初山 貴） 特定非営利活動法人への移行（NPO法人設立）		
32	2015	27	マイナンバー制度開始			
33	2016	28	「がん登録等の推進に関する法律」施行 診療情報管理協会国際連盟第18回国際大会（東京）	生涯教育事業の開始 診療情報管理士指導者第12期認定者（久保 博文）		
34	2017	29	「改正個人情報保護法」施行 第43回日本診療情報管理学会開催（札幌）	学会長 中村博彦 日本診療情報管理学会認定団体活動報告 13認定団体の代表として当研究会より報告（佐藤 正子）		
35	2018	30	北海道胆振東部地震発生	地震の影響により学術集会中止		
36	2019	元年	政策科学総合研究事業 ICD-11研修会開催（東京） 「退院サマリー作成に関するガイダンス」掲載 （日本医療情報学会・日本診療情報管理学会）	「ICD-11 各論（第1章～第13章）」講演（瀬尾 善宣）		
37	2020	2	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック	北海道における診療情報管理士現況調査実施 新型コロナウイルス感染症の影響により学術集会・セミナー開催見送り 診療情報管理士指導者第16期認定者（三橋 隼也）		
38	2021	3	厚労省研究事業ICHI講習会開催（札幌） 国際診療情報管理士教育開始（日本病院会）	学術集会のWeb開催開始 令和3年度総会 Web開催		
39	2022	4	ICD-11 WHOによって正式発効			
40	2023	5	令和5年度厚労科研「ICD-11講習会」開催 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）5類へ移行	令和5年度総会・学術集会 ハイブリッド開催		中村記念病院（内山拓也）
41	2024	6	診療録管理体制加算改定：診療録管理体制加算1(140点) 診療録管理体制加算2(100点) 診療録管理体制加算3(30点) （セキュリティ対策（BCP・研修・バックアップ））	学術集会対面開催、「会員交歓会～日常業務の相談・情報交換しましょう！～」実施		